

コールフロースケジュール設定

接続先として、下記を設定できます。ただし、契約しているオプションおよび着信番号に限りです。

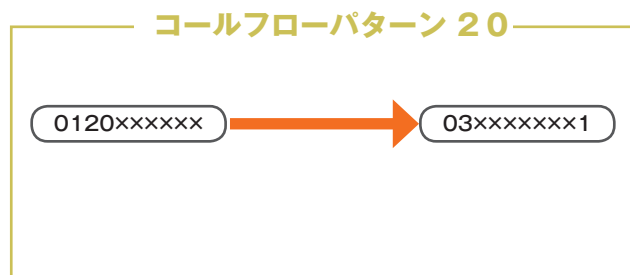
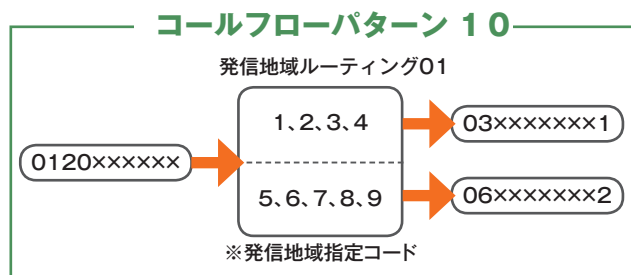
- ・着信番号
- ・ACD グループ
- ・発信地域ルーティング
- ・発信電話番号ルーティング
- ・発信局番ルーティング
- ・発信端末種別ルーティング
- ・入力指示ルーティング(インテリジェントサービスのみ)

※接続先としてルーティングを組み合わせる設定する場合は、10段まで組み合わせが可能です。

コールフロースケジュール設定は、「コールフローパターン」、「時間帯パターン」および「スケジュール」の3つを組み合わせる設定します。

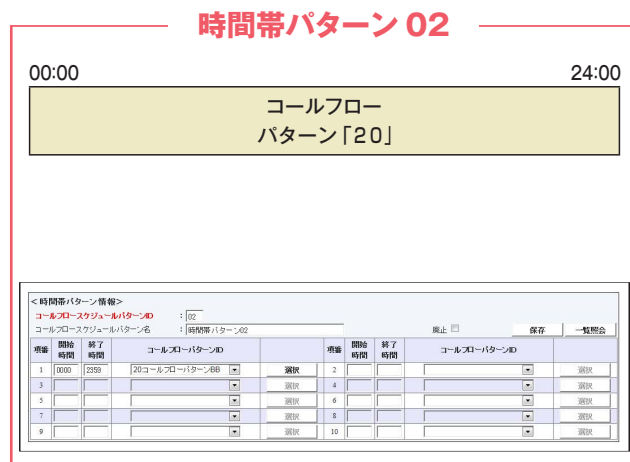
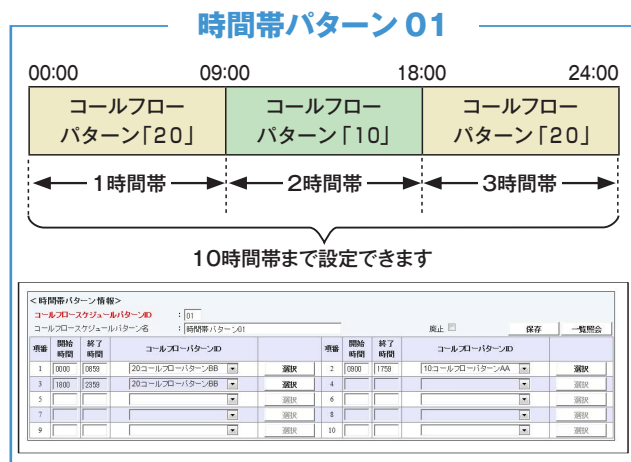
コールフローパターン

各種ルーティングなどを組合せ、コールフローを設定できます。



時間帯パターン

コールフローパターンを1日のスケジュールに1分単位で10時間帯まで設定できます。



スケジュール

<曜日・祝日スケジュール>または<カレンダースケジュール>ごとに時間帯パターンを設定できます。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
時間帯パターン02	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン02

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 02 日曜 02 月曜 01 火曜 01 水曜 01 木曜 01 金曜 01 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
-2016年4月-
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (コールフロースケジュールパターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	選択
1	01	時間帯パターン01	選択
2	02	時間帯パターン02	選択

上表のように時間帯パターンを設定する場合、<曜日スケジュール>を設定します。



ご注意 必ずお読みください。

- スケジュールを設定していない日または時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。

スケジュールを組み合わせて利用する場合

曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。

<祝日の設定について>

祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。

例) 下記のようにスケジュール設定した場合

- ・1月1日は曜日スケジュールの日曜日に設定している時間帯パターン「02」が動作
- ・1月2日は祝日スケジュールに設定している時間帯パターン「03」が動作
- ・1月9日はカレンダースケジュールに設定している時間帯パターン「02」が動作

祝日
スケジュール

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 03 日曜 02 月曜 01 火曜 01 水曜 01 木曜 01 金曜 01 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
-2017年1月-
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (コールフロースケジュールパターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	選択
1	01	時間帯パターン01	選択
2	02	時間帯パターン02	選択
3	03	時間帯パターン03	選択

**ご注意ください。必ずお読みください。****スケジュール設定の可能なメニューとスケジュールの優先順位について**

スケジュールを設定できるメニューには、それぞれに時間帯パターンとスケジュールがあります。各メニューごとに時間帯パターンとスケジュールを設定してください。

スケジュールの優先順位は下記のとおりです。

優先順位1	「1.時間外・受付先変更設定」 (サービス番号別)
優先順位2	「6.コールフロースケジュール設定」
優先順位3	「1.時間外・受付先変更設定」 (ACDグループ別)
優先順位4	「4.分配比設定」
優先順位5	「1.時間外・受付先変更設定」 (着信番号別)
優先順位6	「2.回線数変更設定」 「21.待合せ設定」

時間外案内ガイダンスまたは受付先変更をご利用のお客さまへ

サービス番号単位で時間外案内ガイダンスまたは受付先変更を設定している場合、コールフロースケジュール設定は機能せず、時間外案内ガイダンスまたは受付先変更が機能します。

6-1 コールフローパターンを変更・廃止する

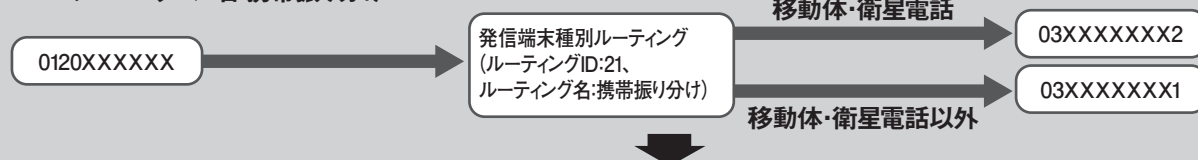
◆次の変更例で、コールフローパターンを変更・廃止する方法について説明します。

変更例

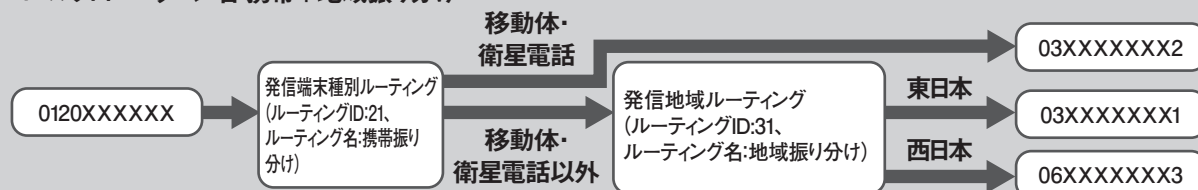
サービス番号「0120XXXXXX」

コールフローパターン（パターンID：01、パターン名：携帯振り分け）の設定内容を次のように変更・廃止します。移動体・衛星電話以外の接続先に発信地域ルーティングを設定します。

コールフローパターン名:携帯振り分け



コールフローパターン名:携帯+地域振り分け



画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

04. コールフロー変更

01. コールフローパターン変更

コールフローパターン変更業務

新規作成 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<コールフローパターン>

パターンID	パターン名	先頭接続先区分	先頭接続先番号	選択
00	KIHON	着信電話番号	03XXXXXXX1	表示
01	携帯振り分け	発信端末種別ルーティング	21	表示

1

該当の「表示」ボタンをクリックします。

→選択したコールフローパターンの設定情報が表示されます。

コールフローパターン変更業務

保存 戻る ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

コールフローパターンID : 01 コールフローパターン名 : 携帯+地域振り分け

<コールフロー情報> ※11段目以降表示されている場合は設定誤りですので、10段までになる欄にしてください。

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト	接続元区分	接続元ID	廃止
先頭	発信端末種別ルーティング	21	表示	表示	..	..	☐

<未使用ルーティング情報>

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト
未使用	発信地域ルーティング	31	表示	表示
未使用	発信電話番号ルーティング	41	表示	表示
未使用	発信局番ルーティング	51	表示	表示

コールフローパターンを変更する場合

2

「コールフローパターン名」に「携帯+地域振り分け」と入力します。(画面A)

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、コールフローパターン名が更新されます。

4

<コールフロー情報>の接続先リストの「表示」ボタンをクリックします。(画面C)

→発信端末種別ルーティングの接続先リストが表示されます。

参考 <未使用ルーティング情報>は、契約しているルーティングが表示されます。

発信端末種別ルーティング基本情報変更業務

E

サービス番号 : 0120XXXXXX
 契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
 発信端末種別ルーティングID : 21

<ルーティング情報>
 発信端末種別ルーティング名 : 携帯+地域振り分け

<NTTCom・NTT地域>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 発信地域ルーティング 接続先番号 : 31 **A**

<NTT地域公衆>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 発信地域ルーティング 接続先番号 : 31 **B**

<移動体(自動車・携帯)>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 着信番号 接続先番号 : 03XXXXXX2

<PHS>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 発信地域ルーティング 接続先番号 : 31 **C**

<衛星電話>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 着信番号 接続先番号 : 03XXXXXX2

<他社直収・0A～JVVoIP>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 発信地域ルーティング 接続先番号 : 31 **D**

<Com050VoIP>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 接続先番号 :

<他社050VoIP>
 接続種別 : 接続 接続先区分 : 接続先番号 :

5

<NTTCom・NTT地域>に必要な項目を入力します。(画面A)

●「接続先区分」から「発信地域ルーティング」を選択します。

「接続先番号」に「31」を入力します。

●<NTT地域公衆><PHS><他社直収・0A～JVVoIP>も同様に設定します。(画面B・C・D)

6

「保存」ボタンをクリックします。(画面E)

➡「正常に終了しました。」メッセージが表示され、コールフローパターンが更新されます。

参考 設定項目の詳細については、P96「補足」を参照してください。

コールフローパターン変更業務

B

サービス番号 : 0120XXXXXX
 契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
 コールフローパターンID : 01 コールフローパターン名 : 携帯+地域振り分け

<コールフロー情報> ※11段目以降表示されている場合は設定誤りですので、10段目になる値にしてください。 **A** ☒

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト	接続元区分	接続元ID
先頭	発信端末種別ルーティング	21	表示	表示	--	--
2段目	発信地域ルーティング	31	表示	表示	発信端末種別ルーティング	21

<未使用ルーティング情報>

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト
未使用	発信電話番号ルーティング	41	表示	表示
未使用	発信局番ルーティング	51	表示	表示

便利な
使い方

●各ルーティングの「ルーティング基本情報」「接続先リスト」の「表示」ボタンをクリックすると、選択したルーティングの基本情報および接続先リストを変更することもできます。

コールフローパターンを廃止する場合

7

「廃止」チェックボックスにチェックをつけます。(画面A)

8

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

➡「正常に終了しました。」メッセージが表示され、コールフローパターンが廃止されます。

参考 時間帯パターンに設定されているコールフローパターンを廃止することはできません。時間帯パターンの変更については、P97を参照してください。また、コールフローパターンID「00」は基本コールフローとなるため、廃止できません。

！ **ご注意** 必ずお読みください。

- コールフローパターンを有効にするには、時間帯パターンおよびスケジュールに設定する必要があります。時間帯パターンの変更についてはP97、スケジュールの変更についてはP102を参照してください。
- 接続先としてルーティングを組み合わせる場合は、10段まで組み合わせが可能です。

6-2 コールフローパターンを照会する

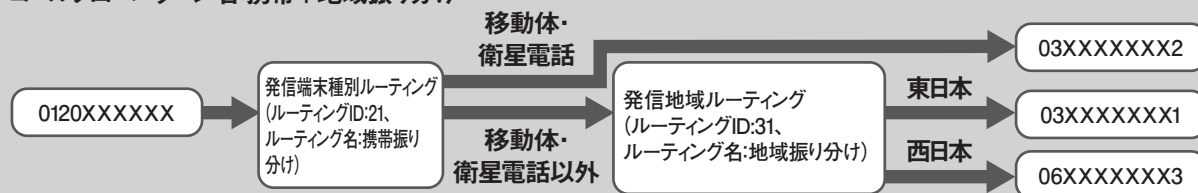
◆次の照会例で、コールフローパターンの設定内容を照会する方法について説明します。

照会例

サービス番号「0120XXXXXX」

コールフローパターン（パターンID：01、パターン名：携帯＋地域振り分け）の設定内容を照会します。

コールフローパターン名：携帯＋地域振り分け



画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

03. コールフロー照会

01. コールフローパターン照会

コールフローパターン照会業務

新規作成 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<照会結果>

パターンID	パターン名	先頭接続先区分	先頭接続先番号	パターン入力
00	KJHON	着信電話番号	03XXXXXXX1	表示
01	携帯＋地域振り分け	発信端末種別ルーティング	21	表示

1

該当の「表示」ボタンをクリックします。

➡選択したコールフローパターンの設定情報が表示されます。

コールフローパターン照会業務

戻る ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

コールフローパターンID : 01 コールフローパターン名 : 携帯＋地域振り分け

<コールフロー情報> ※11段目以降表示されている場合は設定誤りですので、10段までになる様にご確認ください。

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング管理	接続先リスト	接続先区分	接続先ID
先頭	発信端末種別ルーティング	21	表示	表示	--	--
2段目	発信地域ルーティング	31	表示	表示	発信端末種別ルーティング	21

<未使用ルーティング情報>

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト
未使用	発信電話番号ルーティング	41	表示	表示
未使用	発信局番ルーティング	51	表示	表示

2

必要な項目を確認します。

段数

コールフローの段数です。

接続先区分

コールフローの接続方法です。接続方法には、着信番号、ACDグループ、各種ルーティングがあります。

接続先番号

接続先の番号です。接続先区分がルーティング、ACDグループの場合はそれぞれのID、着信番号の場合は着信番号になります。

参考 <未使用ルーティング情報>は、契約しているルーティングが表示されず。

便利な 使い方

●各ルーティングの「ルーティング管理」「ルーティング基本情報」「接続先リスト」の「表示」ボタンをクリックすると、選択したルーティングの基本情報および接続先リストが表示されます。

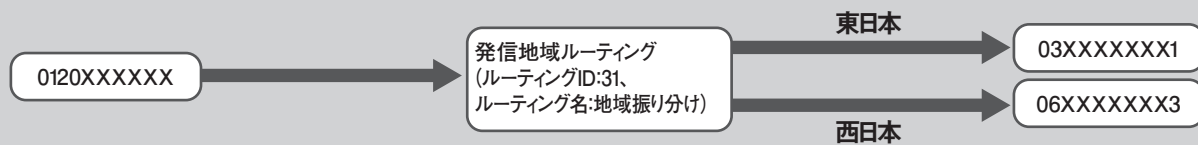
6-3 コールフローパターンを作成する

◆次の作成例で、コールフローパターンを作成する方法について説明します。

作成例

サービス番号「0120XXXXXX」

コールフローパターン（パターンID：02、パターン名：地域振り分け）を作成し、次のように設定します。



画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01 運用状況

04. コールフロー変更

01. コールフローパターン変更

コールフローパターン変更業務

新規作成 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : N T T コミュニケーションズ株式会社

<コールフローパターン>

パターンID	パターン名	先頭接続先区分	先頭接続先番号	選択
00	KIHON	着信番号	001000000X1	表示
02	携帯+地域振り分け	発信端末種別ルーティング	21	表示

1

「新規作成」ボタンをクリックします。

→コールフローパターンの設定項目が表示されます。

コールフローパターン登録業務

保存 戻る ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : N T T コミュニケーションズ株式会社

コールフローパターンID : 02 コールフローパターン名 : 地域振り分け

<コールフロー情報> ※116月以降表示されている場合は設定済みですので、10段までになる様にしてください。

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト	接続先区分	接続先ID
先頭	発信地域ルーティング	31	表示	表示	--	--

<未使用ルーティング情報>

段数	接続先区分	接続先番号	ルーティング基本情報	接続先リスト
未使用	発信地域ルーティング	31	表示	表示
未使用	発信電話番号ルーティング	41	表示	表示
未使用	発信端末種別ルーティング	21	表示	表示
未使用	発信局番ルーティング	51	表示	表示

2

必要な項目を入力します。

●「コールフローパターンID」に「02」と入力します。

●「コールフローパターン名」に「地域振り分け」と入力します。(画面A)

●<コールフロー情報>「接続先区分」から「発信地域ルーティング」を選択します。

「接続先番号」に「31」と入力します。(画面B)

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面C)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、コールフローパターンが作成されます。

参考 <未使用ルーティング情報>は、契約しているルーティングが表示されます。

便利な
使い方

●各ルーティングの「ルーティング基本情報」「接続先リスト」の「表示」ボタンをクリックすると、選択したルーティングの基本情報および接続先リストを変更することもできます。

！ ご注意 必ずお読みください。

●コールフローパターンを有効にするには、時間帯パターンおよびスケジュールに設定する必要があります。時間帯パターンの変更についてはP97、スケジュールの変更についてはP102を参照してください。

●接続先としてルーティングを組み合わせる場合は、10段まで組み合わせが可能です。

補足

- コールフローパターンは、100個まで作成できます。
- コールフローパターンIDには、「00」～「99」の数字を入力します。ただし、すでに登録されているIDは設定できません。
- コールフローパターン名は、全角20文字(半角40文字、ただし半角カナは設定不可)で設定します。

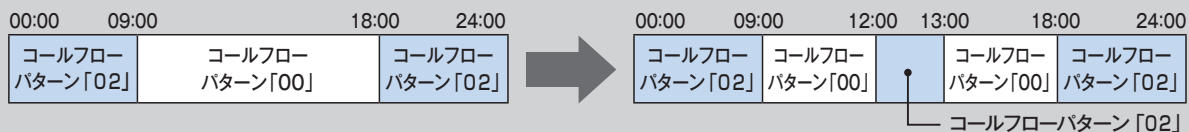
6-4 時間帯パターンを変更・廃止する

◆次の変更例で、時間帯パターンを変更・廃止する方法について説明します。

変更例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン（パターンID:01、パターン名:平日用）の設定内容を次のように変更・廃止します。



画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01.運用状況

04.コールフロー変更

02.コールフロースケジュール変更

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と曜日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と曜日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日: 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
～2016年2月～
2016年2月: 1, 2, 3, 4, 5, 6
2016年3月: 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
2016年4月: 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20
2016年5月: 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27
2016年6月: 28, 29

<期間設定>
(yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID: 保存

<時間帯パターン情報> 新增作成

順番	パターンID	パターン名	選択	順番	パターンID	パターン名	選択
1	01	平日用	☒	2	02	休日用	☒

1

該当の「選択」ボタンをクリックします。

→選択した時間帯パターンの設定情報が表示されます。

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と曜日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と曜日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日: 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
～2016年2月～
2016年2月: 1, 2, 3, 4, 5, 6
2016年3月: 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
2016年4月: 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20
2016年5月: 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27
2016年6月: 28, 29

<期間設定>
(yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID: 保存

<時間帯パターン情報> 廃止 ☒ B 保存 一覧開示

コールフロースケジュールパターンID : 01
コールフロースケジュールパターン名 : 平日用

順番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	選択	順番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	選択
1	0000	0859	02 地域課の分け	☒	2	1200	1259	02 地域課の分け	☒ A
3	1800	2359	02 地域課の分け	☒	4				☒
5				☒	6				☒
7				☒	8				☒
9				☒	10				☒

時間帯パターンを変更する場合

2

<時間帯情報一覧>に必要な項目を入力します。(画面A)

●項番3の「開始時刻」に「1200」、
「終了時刻」に「1259」と入力します。
「コールフローパターンID」に「02」と入力します。

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが更新されます。

【参考】設定項目の詳細については、P101「補足」を参照してください。



ご注意 必ずお読みください。

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P102を参照してください。
- <時間帯パターン一覧>に設定していない時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。
- 「開始時刻」、「終了時刻」は1分単位で設定できます。「終了時刻」は、設定したい時刻の1分前を設定します。例えば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時刻」に「1200」、「終了時刻」に「1259」と設定します。

コールフロースケジュール情報変更業務 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : N T T コミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
☐ 祝日 ☐ 日曜 ☐ 月曜 ☐ 火曜 ☐ 水曜 ☐ 木曜 ☐ 金曜 ☐ 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定>
 (yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) 保存

<時間帯パターン情報>
 コールフロースケジュールパターンID : 01
 コールフロースケジュールパターン名 : 平日用

順番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	選択	順番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	選択
1	0000	0859	02 地域振り分け	☐	2	1200	1259	02 地域振り分け	☐
3	1800	2359	02 地域振り分け	☐	4				☐
5				☐	6				☐
7				☐	8				☐
9				☐	10				☐

時間帯パターンを廃止する場合

4

「廃止」チェックボックスにチェックを付けます。(画面A)

5

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが廃止されます。

参考 スケジュールに設定されている時間帯パターンを廃止することはできません。スケジュールの変更については、P102を参照してください。

！ **注意** 必ずお読みください。

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P102を参照してください。
- <時間帯パターン一覧>に設定していない時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンIDの設定内容については、P95を参照してください。
- 「開始時刻」、「終了時刻」は1分単位で設定できます。「終了時刻」は、設定したい時刻の1分前を設定します。例えば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時刻」に「1200」、「終了時刻」に「1259」と設定します。

6-5 時間帯パターンを照会する

◆次の照会例で、時間帯パターンの設定内容を照会する方法について説明します。

照会例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン(パターンID:01、パターン名:平日用)の設定内容を照会します。

00:00	09:00	18:00	24:00
コールフローパターン「02」	コールフローパターン「00」	コールフローパターン「02」	

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01.運用状況

03.コールフロー照会

02.コールフロースケジュール照会

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。

<曜日・祝日スケジュール> ※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

祝日 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月

2016年3月

2016年4月

2016年5月

2016年6月

2016年7月

2016年8月

2016年9月

2016年10月

2016年11月

2016年12月

2017年1月

2017年2月

<期間設定>

(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (コールフロースケジュールパターンID) 保存

<時間帯パターン情報>

コールフロースケジュールパターンID : 01

コールフロースケジュールパターン名 : 平日用 廃止 保存 一覧照会

項番	開始時間	終了時間	コールフローパターンID	選択	項番	開始時間	終了時間	コールフローパターンID	選択
1	0000	0859	02:地域振り分け	選択	2	1800	2359	02:地域振り分け	選択
3				選択	4				選択
5				選択	6				選択
7				選択	8				選択
9				選択	10				選択

手順①はP97の『時間帯パターンを変更・廃止する』を参照してください。

②
必要な項目を確認します。

❗**ご注意** 必ずお読みください。

- <時間帯パターン一覧>に設定していない時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。

6-6 時間帯パターンを作成する

◆次の作成例で、時間帯パターンを作成する方法について説明します。

作成例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン(パターンID:02、パターン名:休日用)を作成し、次のように時間帯パターンを設定します。

00:00	10:00	15:00	24:00
コールフローパターン「01」	コールフローパターン「00」	コールフローパターン「01」	

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01.運用状況

04.コールフロー変更

02.コールフロースケジュール変更

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	消番	パターンID	パターン名
1	01	平日用	選択		

1

「新規作成」ボタンをクリックします。

→時間帯パターンの設定項目が表示されます。

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID 保存

<時間帯パターン情報>

コールフロースケジュールパターンID : 02 A
コールフロースケジュールパターン名 : 休日用

保存 C

項番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	消番	開始時刻	終了時刻	コールフローパターンID	消番
1	0000	0959	01.携帯+地域振り分け	選択 B	2	1500	2359	01.携帯+地域振り分け
3				選択	4			選択
5				選択	6			選択
7				選択	8			選択
9				選択	10			選択

2

<時間帯パターン情報>に必要な項目を入力します。(画面A)

- 「コールフロースケジュールパターンID」に「02」と入力します。
- 「コールフロースケジュールパターン名」に「休日用」と入力します。

3

<時間帯パターン情報>に必要な項目を入力します。(画面B)

- 項番1の「開始時刻」に「0000」、「終了時刻」に「0959」と入力します。「コールフローパターンID」に「01」と入力します。
- 項番2の「開始時刻」に「1500」、「終了時刻」に「2359」と入力します。「コールフローパターンID」に「01」と入力します。

4

「保存」ボタンをクリックします。(画面C)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが作成されます。

**【ご注意】必ずお読みください。**

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P102を参照してください。
- ＜時間帯パターン一覧＞に設定していない時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。
- 「開始時刻」、「終了時刻」は1分単位で設定できます。「終了時刻」は、設定したい時刻の1分前を設定します。たとえば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時刻」に「1200」、「終了時刻」に「1259」と設定します。

補足

- 時間帯パターンは20個まで作成できます。
- 時間帯パターンは、1パターンにつき10時間帯まで設定できます。
- 時間帯パターンIDには、「00」～「ZZ」の数字または英大文字を入力します。ただし、すでに登録されているIDは設定できません。
- 時間帯パターン名は、全角20文字（半角40文字、ただし半角カナは設定不可）で設定します。
- 開始時刻、終了時刻は00:00をまたがって設定できません。

6-7 スケジュールを変更する

◆スケジュールの種類および優先順位は下記のとおりです。

優先順位1	カレンダースケジュール	1日ごとにスケジュールを設定できます。
優先順位2	祝日スケジュール	祝日を設定できます。年間を通して同じです。
優先順位3	曜日スケジュール	曜日ごとにスケジュールを設定できます。年間を通して同じです。

◆次の変更例で、スケジュールを変更する方法について説明します。

変更例

サービス番号「0120XXXXXX」

次のように<曜日・祝日スケジュール>と<カレンダースケジュール>に設定されている時間帯パターンを変更します。

曜日スケジュール	土曜、日曜の時間帯パターンID「01」を「02」に変更
祝日スケジュール	時間帯パターンID「02」を設定
カレンダースケジュール	2016年10月10日に時間帯パターンID「02」を設定

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

04. コールフロー変更

02. コールフロースケジュール変更

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。

<曜日・祝日スケジュール> **A** ※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンをクリックします。 **C** 保存

B 祝日 02 日曜 02 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

<期間設定> (yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) [コールフロースケジュールパターンID] 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	選択	順番	パターンID	パターン名	選択
1	01	平日用	選択	2	02	休日用	選択

曜日・祝日スケジュールを変更する場合

1

<曜日・祝日スケジュール>の「土曜」と「日曜」に「02」を選択します。
(画面A)

2

<曜日・祝日スケジュール>の「祝日」に「02」を選択します。(画面B)

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面C)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、<曜日・祝日スケジュール>が更新されます。

参考 <曜日・祝日スケジュール>は、年間を通して同じです。月を切り替えても変わりません。

! ご注意 必ずお読みください。

- <曜日・祝日スケジュール><カレンダースケジュール><期間設定>は、それぞれ「保存」ボタンが別になります。各設定ごとの「保存」ボタンをクリックしないと設定されません。
- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。
- 祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。詳細はP91「スケジュールを組み合わせる場合」を参照してください。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。

カレンダースケジュールを変更する場合

4

「2016年10月」のボタンをクリックします

→ 2016年10月のカレンダースケジュールが表示されます。

【参考】カレンダースケジュールは、当月を含め13カ月先まで設定できます。

【参考】カレンダースケジュール設定のある月は、ボタンが青色で表示されます。

5

<カレンダースケジュール>の「10」日に「02」を選択します。(画面A)

6

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→ 「正常に終了しました。」メッセージが表示され、<カレンダースケジュール>が更新されます。

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 02 日曜 02 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
- 2016年10月 -

2016年2月							1
2016年3月							
2016年4月							
2016年5月	2	3	4	5	6	7	8
2016年6月	9	10	11	12	13	14	15
2016年7月	16	17	18	19	20	21	22
2016年8月	23	24	25	26	27	28	29
2016年9月	30	31					
2016年10月							
2016年11月							
2016年12月							
2017年1月							
2017年2月							

<期間設定> (yyyy/mm/dd)~ (yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	項番	パターンID	パターン名
1	01	平日用	2	02	休日用

コールフロースケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 02 日曜 02 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存
- 2016年10月 -

2016年2月							1
2016年3月							
2016年4月							
2016年5月	2	3	4	5	6	7	8
2016年6月	9	10 02	11	12	13	14	15
2016年7月	16	17	18	19	20	21	22
2016年8月	23	24	25	26	27	28	29
2016年9月	30	31					
2016年10月							
2016年11月							
2016年12月							
2017年1月							
2017年2月							

<期間設定> (yyyy/mm/dd)~ (yyyy/mm/dd) コールフロースケジュールパターンID 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	項番	パターンID	パターン名
1	01	平日用	2	02	休日用

便利な
使い方

- <カレンダースケジュール>は、<期間設定>から期間を入力して設定することもできます。(画面C)
- <時間帯パターン情報>の「選択」ボタンをクリックすると、選択した時間帯パターンの内容を変更することもできます。時間帯パターンの変更については、P97を参照してください。
- <時間帯パターン情報>の「新規作成」ボタンをクリックすると、時間帯パターンを新規作成することもできます。時間帯パターンの作成については、P100を参照してください。



【ご注意】 必ずお読みください。

- <曜日・祝日スケジュール><カレンダースケジュール><期間設定>は、それぞれ「保存」ボタンが別になります。各設定ごとの「保存」ボタンをクリックしないと設定されません。
- <カレンダースケジュール>は、「保存」ボタンをクリックする前に表示月を切り替えると設定が反映されません。必ず1カ月単位で設定してください。
- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンIDの設定内容については、P95を参照してください。

コールフロースケジュール情報変更業務 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : N T T コミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
☐ 祝日 ☐ 日曜 ☐ 月曜 ☐ 火曜 ☐ 水曜 ☐ 木曜 ☐ 金曜 ☐ 土曜 ☐ 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月
2017年2月

2016年10月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

<期間設定>
 (yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) ☐ コールフロースケジュールパターンID 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	項番	パターンID	パターン名
1	01	平日用	2	02	休日用

スケジュールを解除する場合

7

<曜日・祝日スケジュール>または<カレンダースケジュール>の該当曜日・祝日または日に「無」を選択します。

8

各設定ごとに「保存」ボタンをクリックします。

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、スケジュールが更新されます。

参考

<期間設定>は期間を入力し、「コールフロースケジュールパターンID」から「削除」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

！ 注意 必ずお読みください。

- <曜日・祝日スケジュール><カレンダースケジュール><期間設定>は、それぞれ「保存」ボタンが別になります。各設定ごとの「保存」ボタンをクリックしないと設定されません。
- <カレンダースケジュール>は、「保存」ボタンをクリックする前に表示月を切り替えると設定が反映されません。必ず1カ月単位で設定してください。
- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。

6-8 スケジュールを照会する

◆ 次の照会例で、スケジュールを照会する方法について説明します。

照会例

サービス番号「0120XXXXXX」

<曜日・祝日スケジュール>と2016年10月の<カレンダースケジュール>を照会します。

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況



03. コールフロー照会

02 コールフロースケジュール照会



コールフロースケジュール情報照会業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。

<曜日・祝日スケジュール> (画面B)
☒ 祝日 02 ☐ 日曜 02 ☐ 月曜 ☐ 火曜 ☐ 水曜 ☐ 木曜 ☐ 金曜 ☐ 土曜 02

<カレンダースケジュール> (画面A)
 過去スケジュール照会
 2016年2月 2016年3月 2016年4月 2016年5月 2016年6月 2016年7月 2016年8月 2016年9月 2016年10月 (画面A) 2016年11月 2016年12月 2017年1月 2017年2月

2016年10月 - 保存

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

<時間帯パターン情報>

項番	パターンID	パターン名	項番	パターンID	パターン名
1	01	平日用	2	02	休日用

便利な
使い方

- <時間帯パターン情報>の「選択」ボタンをクリックすると、選択した時間帯パターンの設定内容が表示されます。
- <曜日・祝日スケジュール>の曜日・祝日や<カレンダースケジュール>の日をクリックすると、設定されている時間帯パターンの設定内容が表示されます。

1

<スケジュール情報>から「2016年10月」のボタンをクリックします。

(画面A)

→ 2016年10月のカレンダースケジュールが表示されます。

参考 カレンダースケジュール設定のある月は、ボタンが青色で表示されます。

2

必要な項目を確認します。

<曜日スケジュール> (画面B)

曜日ごとに設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

<祝日スケジュール> (画面C)

祝日に設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

<カレンダースケジュール> (画面D)

日ごとに設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

参考 <曜日・祝日スケジュール>は、年間を通して同じです。月を切り替えても変わりません。

!! ご注意 必ずお読みください。

- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。
- 祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。詳細はP91「スケジュールを組み合わせる場合」を参照してください。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、コールフローパターンID「00」のコールフローが機能します。コールフローパターンの設定内容については、P95を参照してください。